

# 一般会計予算審議の流れ



## 賛成

みすずの会  
江田 五六 議員

超高齢・人口減少社会の到来により、公共施設の維持が難しく全国的に問題。交流館の維持費は、若い世代にも負担してもらうことが前提の計画である。一方、若い世代から不要の声が届く、納得できる十分な説明が必要。

## 賛成

みすずの会  
恵利 いつ 議員

行政は一方的な情報提供ではなく、住民の疑問や不安に答え、理解を得る努力を先にやるべき。住民主体のまちづくりにも鑑み住民への説明責任を果たせていない状況で、建設費予算の計上は到底認められるものではない。

一般会計予算に計上された(仮称)歴史と未来の交流館事業費の削除を求めるもの。

## 修正動議内容

## ① 修正動議

否決

## 賛成

公明党  
植木 伸寿 議員

村長の掲げた「子育て支援」や「教育環境の充実」などに加え、新たな「総合計画策定」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」も改訂し、人口減少に立ち向かい将来に向け、活力ある方向性を示すとしていることに賛成。

## 賛成

新政とうかい  
武部 慎一 議員

一般会計予算は全体として次世代を育む予算である。特に産業分野の活性化や教育分野の基本となる多くの支援事業が展開され評価できる。なお、交流館建設は村民が理解し参画し得る仕組みを構築した上で推進すべき。

## 賛成

新政とうかい  
寺門 定範 議員

病児・病後児保育施設の開設等安心して子どもを産み、育てやすい環境を実現するための事業、商工業の発展や農業の振興事業など、計画された事業の現況と課題を踏まえ、目標の実現に向けた適切な計画であり賛成する。

## ② 一般会計予算案

可決

## 反対

新政とうかい  
笹嶋 士郎 議員

平成31年度予算は、子育て世代が安心して子育てが出来る予算であり評価するが、効率化や低コストに努めていない14億円1,000万円もの(仮称)歴史と未来の交流館建設関連予算が計上されており認められない。

## 反対

みすずの会  
恵利 いつ 議員

計画当初示された金額は12億円、昨年6月には15億8,900万円に、今回は建設関連事業費として18億2,700万円になった。多額の税金を投入する建物、住民への説明が十分されないままで予算計上を認めるわけにはいかない。

## 反対

無会派  
大名 美恵子 議員

予算は全体として国の方向に沿ったもので、村民一人ひとりが安心して暮らせるための低所得者への対応策などが弱い。国に代わってでも住民の命と暮らしを守ることをしなければならぬという覚悟が求められる。

## 反対

みすずの会  
江田 五六 議員

前回の付帯決議では住民に十分説明をするということで賛成した。しかし、その内容はメリットだけの偏った説明であり、建設費は増額の方向で進められてきた。今回は同じように危惧をいただいたので付帯決議には反対。

## 反対

みすずの会  
阿部 功志 議員

「村民に説明を」の請願は認めず、一方で「村民への理解促進を図る」では整合性がない。それを「考え方の相違だ」と言うのでは討論の否定、議会の否定になる。請願を認め、住民への説明を保証するのが議会のあり方。

1. 交流館建設については、引き続き幅広く村民の理解を得るよう努めるとも、多くの村民が参画し得る仕掛けを構築したうえで、事業推進すること。  
2. 備品の選定や管理運営計画の策定に際しては、維持管理費を含めたコスト削減に努めること。

## 付帯決議内容

## ③ 付帯決議

可決

### 付帯決議とは

議会における審議の対象である議案の議決に当たって、その議案について付随的に付けられる意見又は要望の決議のこと。